

# 日本印刷産業連合会グランドデザインの概要

日印産連では、会員 10 団体はじめ、関係省庁、関係団体のご協力のもと、「グランドデザイン」の策定を昨年度より進めてきました。「グランドデザイン」では、従来の活動や組織、予算等を抜本的に見直し、今後の役割や活動テーマを再構築することいたしました。先月開催された第 4 回理事会において、平成 27 年度からの活動方針が承認されましたので、概要についてご紹介いたします。なお各委員会の活動内容および正式な委員会組織図につきましては、7 月号での掲載となります。

## 1. グランドデザインの概要

- 日印産連は、印刷産業の社会的責任（SR）遂行に寄与するための活動を事業目的とする組織にする。
  - 印刷産業の果たすべき役割をわかりやすく表す「ミッション・ステートメント」を新たに制定する。
  - 日印産連は、印刷産業の SR 遂行に寄与するという事業目的達成のためにあらゆる資源を集中させる。
- ※ このため従来の活動テーマ、組織・予算等を抜本的に見直し、再編成し、併せて、一般社会へのコミュニケーションを強化し、印刷産業への理解・共感と、信頼感の醸成に努める。
- 業界団体として国連の提唱する「Global Compact（グローバルコンパクト）」へ賛同表明し、SR の取り組みを業界上げて進める象徴とする。

## 2. ミッション・ステートメント

日印産連は、「印刷産業の社会的責任」遂行に資する活動を継続していくことを目的として、以下のミッション・ステートメント（共有すべき価値観及び行動に関する指針）を掲げる。

### ミッション・ステートメント

われわれ印刷業に携わるものは、印刷事業を通じて常に新しい価値創造に邁進し、豊かな情報文化、生活文化を実現することで持続可能な社会の発展に貢献する

そのために、われわれは常に「印刷」の可能性を見つめなおし、新しい事業領域の拡大、奥行きを深耕そして新しい技術開発に挑戦し続ける。

## 3. 事業の見直し／事業目的

グランドデザイン概念に沿い、印刷産業の SR 遂行に資する活動に集中していく。

- 印刷産業の価値創造に資する活動（情報提供）を行う。
- 社会規範やルールに則って活動し、顧客社会からの高い信頼を得られる産業となるための活動を行う。
- 印刷産業の果たしている役割などをわかりやすく多様なステークホルダーに対して説明を行い、対外広報活動を強化するとともに、印刷産業と社会との接点拡大を展開し、印刷産業への共感醸成を図る。

## 4. 運営組織・体制の再編成

グランドデザインの目的に沿った組織体制、明確な指針（ミッション・ステートメント）で行動する組織体制に再編をしていく。

(1) 事業運営体制は、3 区分を基本とする。

- 常設委員会（現行の 7 常設委員会を 5 常設委員会に再編する）
- 日印産連としての表彰を司る顕彰委員会（顕彰の客観性と信頼性の継続を目的に独立した委員会とする）
- 審査・認定事業（審査認定事業の独立性と事業効果の発揮を通じて、印刷産業の継続的な基盤強化をより一層促進する）

(2) 委員会等の区分と業務分掌

- 常設委員会 = 所轄するテーマに対する大きな意思決定を行う。
- 部会／ワーキンググループ = 委員会の委嘱を受け、プラン策定と実行を行う。
- プロジェクト = 検討すべき必要テーマが発生時に臨時的に組成する。
- 特別委員会 = どの委員会にも当面属さないが、重要と思われるようなテーマが発生した際に設置する。
- 調査研究委員会 = 受託事業や共同事業等、報告書の発行及び個別費用報告が必要な事業を行う。

(3) 委員会の委員構成

委員会名	委員の構成
■ 常設委員会	○ 会員10団体からの派遣委員で構成
① ステアリング・コミッティ (運営委員会)	・ 10団体会長・印刷工業会／全印工連の副会長 ・ 常設委員会の委員長
② 価値創出委員会 ③ 企業行動委員会 ④ 地球環境委員会 ⑤ 広報委員会	○ 会員10団体からの派遣委員で構成する ・ 所属部会の部会長 (原則)
■ 部会	○ 事業テーマに合った委員編成を優先に考える
■ WG (working group)	○ 担当部会で委員の編成を決める
■ プロジェクト ■ 特別委員会 ■ 調査研究委員会	○ 「ステアリング・コミッティ」の承認を得て、委員の編成を行う

5. 正会員会費の改定 ※平成27年6月開催の第30回定時総会で承認

□ 日印産連の新たなグランドデザインにもとづく事業の見直しにより、正会員会費の改定を行う。

